
ずっと一緒

そのめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
ずつと一緒

【Nコード】
N4736E

【作者名】
そのめ

【あらすじ】
僕と織は付き合ってから2年と7ヶ月と27日になる。そんなお話。

僕と織は付き合つて二年と七ヶ月と二十七日になる。

最初はお互いが親友のようなもので、移動教室や普通ならいやいやになるはずの男女ペアなどで行動をとみにしていた。いつからか僕たちの関係は友達以上恋人未満、いやむしろ恋人以上のような感じであつた。一度だけ一緒に学校から帰つたこともある。それも文化祭の帰りに、だ。

織は決して可愛い、といえるような容姿ではなかつた。どちらかというと普通。けれども、彼女は感受性豊かで見ていて可愛い、という意味の可愛いがつかわれる人間だつた。事実、彼女のクラスの方々におもちや扱いされていたようだ。クラスが違つたので、会えるのは休み時間だけだつたのだが、それでも見ていて面白かつた。

そんなのもどうかと思うが、彼女は拘束されるのがとても好きだつた。束縛は苦手らしいが。他にも彼女が好きなものは、拘束、拉致監禁、軟禁、手錠、絞首などどうみてもMだと捉えざるを負えないものばかりなのもこれまた事実であつた。

彼女は精神的に脆い人だつた。

いつかは思い出せないが、彼女は一度精神安定剤を多量摂取したことがあつた。それを彼女は笑顔で話した。

「僕はね、きつと生きてはいけけない人間なんだ。人に迷惑を何回もかけて、自分を嫌いになつて、被害妄想がとても強いやつだからどうしても他人が敵に見えてしまうんだ。理解して欲しいとは思つていない。けれど君には知つておいて欲しいんだ。僕は逃げてる分かつてるんだ。けれど心の片隅にたつた一つ消せない思いがあるんだ。…僕は死んでしまいたいんだ。だから、だから精神安定剤をたくさん飲んだ。悲しんでくれる人がいるなんて思つてはいないけど、死ねたら死にたいとおもつた。死ねなかつたら、生きてみよう

としていたんだ。ごめんね、君がいるってことがこんなにも大切だなんて気づくことができなかったんだ。ありがとう。愛してるよ」「彼女はこの台詞を言うのに二ヶ月掛かったらしい。ということは多量摂取をしたのは三ヶ月前だ。僕はとても後悔した。それまで彼女の気持ちに気づくことが出来なかったのだから。

僕は今、石の建物の前にいる。その建物は僕の腹までしかない。そして僕は今後悔をしている。彼女をそれに閉じ込めてしまったからだ。

彼女の色黒の腕は、今は真っ白になっている。そこに刻まれた無数の赤い線は消えることはない。それは僕の胸にも刻まれ、永遠のものになった。

最後に、君に贈る言葉を持ってきた。

「僕は、ずっと、君の恋人でいる。織、愛してるよ」

後に、在来の石の建物の横に、もうひとつのそれが並べられた。

「ふたりはずっと、一緒だよ」

（後書き）

□あとがき□

ワードの練習として書きました。

病んでる表現をもう少ししたかった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4736e/>

ずっと一緒

2011年1月27日14時08分発行